

中小企業景況調査報告書

2018年1月～3月(実績)

2018年4月～6月(見通し)

2018年3月1日現在

松阪北部商工会

1. 調査概要

(1) 調査対象 松阪北部商工会 40社(製造業、建設業、小売業、サービス業 各10社)

(2) 回答数 38社(製造業9社、建設業9社、小売業9社、サービス業10社)

(3) 調査対象期間 2018年1月～3月(調査時点2018年3月1日)

(4) 調査方法 経営指導員等による面接調査

2. 業界動向

調査対象期間の業況

- 製造業では、前回調査に比べて2項目が大幅な改善傾向にある。
- 建設業では、業況が横ばいであるが、採算と資金繰りは改善傾向にある。
- 小売業では、業況がやや改善、採算が横ばい、資金繰りが悪化となっている。
- サービス業では、業況と資金繰りは横ばいだが、採算はやや悪化している。

	業況(前期比較)		採算(現況)		資金繰り(前期比較)	
	10月～12月	1月～3月	10月～12月	1月～3月	10月～12月	1月～3月
製造業						
建設業						
小売業						
サービス業						

凡例:上記の各項目については以下のアイコンで表示しています。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D・I 昨年同期比	20.1～	5.1～20.0	5.0～ △5.0	△5.1～ △20.0	△20.1～ △35.0	△35.1～
表示						
	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

3. 売上額

前年同期と比較しての「当期」の売上額については、製造業のD・I値は当期、来期とも他の3業種より最も良い。建設業の当期のD・I値はプラスであるが、来期は一転して、大幅悪化の見込みである。

小売業のD・I値は来期予想が当期より好転見込みで、サービス業のD・I値は、来期は当期に比べて好転する予想になっている。

当商工会地域と県内商工会地区との比較では、当地域の製造業は県内平均より「不変」の割合がやや高いが、D・I値でも比較的良い。建設業では、「増加」の割合が高く、当期のD・I値も良いが、来期予想のD・I値は県内平均より悪化見込みとなっている。

小売業は、県内平均より総じて良い結果であるが、来期予想はやや悪い。サービス業では、県内平均より総じて良く、当期比較のD・I値は良好であるが、来期予想は県内平均より悪化の割合が高い。

	増加	不変	減少	D・I値	
	当期	当期	当期	当期	来期予想
製造業	25.0 (23.5)	63.0 (53.0)	13.0 (23.5)	13.0 (0.0)	13.0 (8.8)
建設業	33.3 (26.1)	44.4 (30.4)	22.2 (43.5)	11.1 (▲17.4)	▲33.3 (▲13.6)
小売業	22.2 (7.5)	66.7 (30.0)	11.1 (62.5)	11.1 (▲55.0)	▲44.4 (▲41.1)
サービス業	40.0 (15.4)	40.0 (36.5)	20.0 (48.1)	20.0 (▲32.7)	▲40.0 (▲23.1)

()内は同期間の三重県内の10商工会サンプルの数値

4. 採算

前年同期と比較しての「当期」の採算については、4業種の内、「好転」が建設業で1社、製造業で2社ある。「悪化」割合は建設業が高い。

県内商工会地区との比較では、製造業が総じて良く、建設業もやや良い。小売業はやや良いが、サービス業は、「不変」に集中している。

D・I値(当期)では当商工会がサービス業を除いたすべての業種で他商工会地域平均より好結果であるが、D・I値(来期予想)では、建設業だけが平均よりやや悪い。

	好転	不変	悪化	D・I値	
	当期	当期	当期	当期	来期予想
製造業	13.0 (17.6)	87.0 (55.9)	0.0 (26.5)	13.0 (▲8.9)	0.0 (▲14.7)
建設業	22.2 (8.7)	44.4 (47.8)	33.3 (43.5)	▲11.1 (▲34.8)	▲33.3 (▲30.4)
小売業	0.0 (2.5)	77.8 (47.5)	22.2 (50.0)	▲22.2 (▲47.5)	▲22.2 (▲32.5)
サービス業	0.0 (13.5)	80.0 (42.3)	20.0 (44.2)	▲20.0 (▲30.7)	▲20.0 (▲29.8)

()内は同期間の三重県内の10商工会のサンプルの数値

5. 資金繰り

前年同期と比較して当期の資金繰りでは、すべての業種で「不変」が多い。製造業では、D・I値は当期が13.0である。来期は0.0で資金繰りの問題は見当たらない。建設業のD・I値は、今期は0.0であるが、来期は▲11.1となっている。小売業のD・I値は当期よりも来期はやや回復すると見ている。サービス業は「売上高」は悪化傾向であったが、「資金繰り」ではその傾向はあまり見られない。

県内商工会地区との比較では、小売業の当期を除き、総じて県内商工会地区に比べて当地域の資金繰りは良い。D・I値(来期予想)では、サービス業を除き、すべての業種で県内比較より良い。

	好転	不変	悪化	D・I値	
	当期	当期	当期	当期	来期予想
製造業	13.0 (21.9)	87.0 (56.2)	0.0 (21.9)	13.0 (▲0.0)	0.0 (▲2.9)
建設業	11.1 (8.7)	77.8 (60.9)	11.1 (30.4)	0.0 (▲21.7)	▲11.1 (▲17.4)
小売業	0.0 (2.6)	66.7 (64.1)	33.3 (33.3)	▲33.3 (▲30.7)	▲22.2 (▲28.2)
サービス業	10.0 (5.9)	70.0 (60.8)	20.0 (33.3)	▲10.0 (▲27.4)	▲10.0 (▲16.0)

()内は同期間の三重県内の10商工会の数値

6. 設備投資

10月から12月期の設備投資等では、製造業では0件、来期は機械等「生産設備」に1社が投資を予定している。建設業では、10月から12月期では「建設機械」に2社、「車両」に1社の投資があり、来期は「土地」、「建物」、「車両」、「付帯施設」などに活発な投資が見られる。

小売業では、10月から12月期の投資は、「付帯施設」の1社だけで、来期では「店舗」、「販売設備」、「OA機器」、「福利厚生施設」に各1社が投資を予定している。

サービス業では、10月から12月期の投資は車両」に2社、「土地」と「OA機器」各1社の投資があり、来期も「車両の」に2社などの予定があり、設備投資は盛んである。

10月～ 12期実績	土地	建物・ 店舗	サービス 施設・機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福利厚 生施設	その他
製造業	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	0	0	2	1	0	0	0	0
小売業	0	0	0	0	1	0	0	2
サービス業	1	0	0	2	0	1	0	0

1月～3月 期計画	土地	建物・ 店舗	サービス 施設・機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福利厚 生施設	その他
製造業	0	0	1	0	0	0	0	0
建設業	1	1	0	1	1	1	0	0
小売業	0	1	1	0	0	1	1	0
サービス業	1	0	1	2	1	0	0	0

7. 経営上の問題点

	1 位	2 位	3 位
製造業	生産設備の不足・老朽化(2) 原材料の不足(2) 従業員の確保難(2) 需要の停滞(1)	熟練技術者の確保難(2) 製品ニーズの変化への対応(1) 製品(加工)単価の低下・上昇難(1) 原材料費・人件費以外の経費の増加(1) 従業員の確保難(1)	原材料価格の上昇(1) 人件費の増加(1) 原材料費・人件費以外の経費の増加(1) 製品(加工)単価の低下・上昇難(1)
建設業	材料価格の上昇(3) 民間需要の停滞(2) 請負単価の低下・上昇難(1) 事業資金の借入難(1) 熟練技術者の確保難(1)	事業資金の借入難(1) 官公需要の停滞(1) 材料価格の上昇(1) 人件費の増加(2) 金利負担の増加(1) 熟練技術者の確保難(1)	請負単価の低下・上昇難(1) 取引条件の悪化(1) 下請価格の上昇(1) 従業員の確保難(1) 民間需要の停滞(1)
小売業	需要の停滞(2) 仕入単価の上昇(1) 消費者ニーズの変化への対応(1) 販売単価の低下・上昇難(1) 購買力の他地域への流出(1) 商品在庫の過剰(1)	販売単価の低下・上昇難(2) 大型店・中型店の進出による競争の激化(1) 購買力の他地域への流出(1) 仕入単価の上昇(1) 金利負担の増加(1)	店舗の狭隘・老朽化(3) 需要の停滞(1) 消費者ニーズの変化への対応(1)
サービス業	新規参入者の増加(1) 店舗の狭隘・老朽化(1) 材料等仕入単価の上昇(1) 事業資金の借入難(1) 熟練技術者の確保難(1) 需要の停滞(2)	利用者ニーズの変化への対応(3) 店舗の狭隘・老朽化(1) 利用料金の低下・上昇難(2) 材料等仕入単価の上昇(1) 従業員の確保難(1)	店舗の狭隘・老朽化(2) 利用者ニーズの変化への対応(1) 人件費の増加(1) 金利負担の増加(1) 従業員の確保難(1) その他(1)

[問題点の要約]

- 製造業では、「従業員の確保難」が1位から2位の間に3件あり、最大の問題点である。
- 建設業では、「材料価格の上昇」が1位から3位の間に4件あり、最大の問題点である。
- 小売業では、「需要の停滞」と「販売単価の低下・上昇難」が1位から3位の間に各3件あり、最大の問題点である。
- サービス業では、「店舗の狭隘・老朽化」が4件あり、最大の問題点である。

※表内に太字で表示